

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月7日

栃木県知事  
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県那須塩原市佐野95番地1  
氏 名 モリヒロ生コン株式会社  
代表取締役 杉山 昌之  
電話番号 0287-62-0905

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	モリヒロ生コン(株) 那須塩原本社工場
事業場の所在地	栃木県那須塩原市佐野95番地1
計画期間	2023年 4月 1日～2024年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	[2122] 生コンクリート製造業
②事業の規模	製造品出荷額 7.0億円/年
③従業員数	14人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排 出 量	4,756 t	t
	(これまでに実施した取組) 生コン購入者と密な連絡により戻りコン量を削減し、 産業廃棄物量の低減を図る。		
② 計画	【今年度（ 2023年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排 出 量	4,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 生コン購入者と密な連絡により戻りコン量を削減し、 産業廃棄物量の低減を図る。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程毎に発生したものをそれぞれ保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程毎に発生したものをそれぞれ保管する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)  なし			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（    2022    年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全処理委託量	4,756 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	4,756 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 生コン購入者と密な連絡により戻りコン量を削減し、産業廃棄物量の低減を図る。		

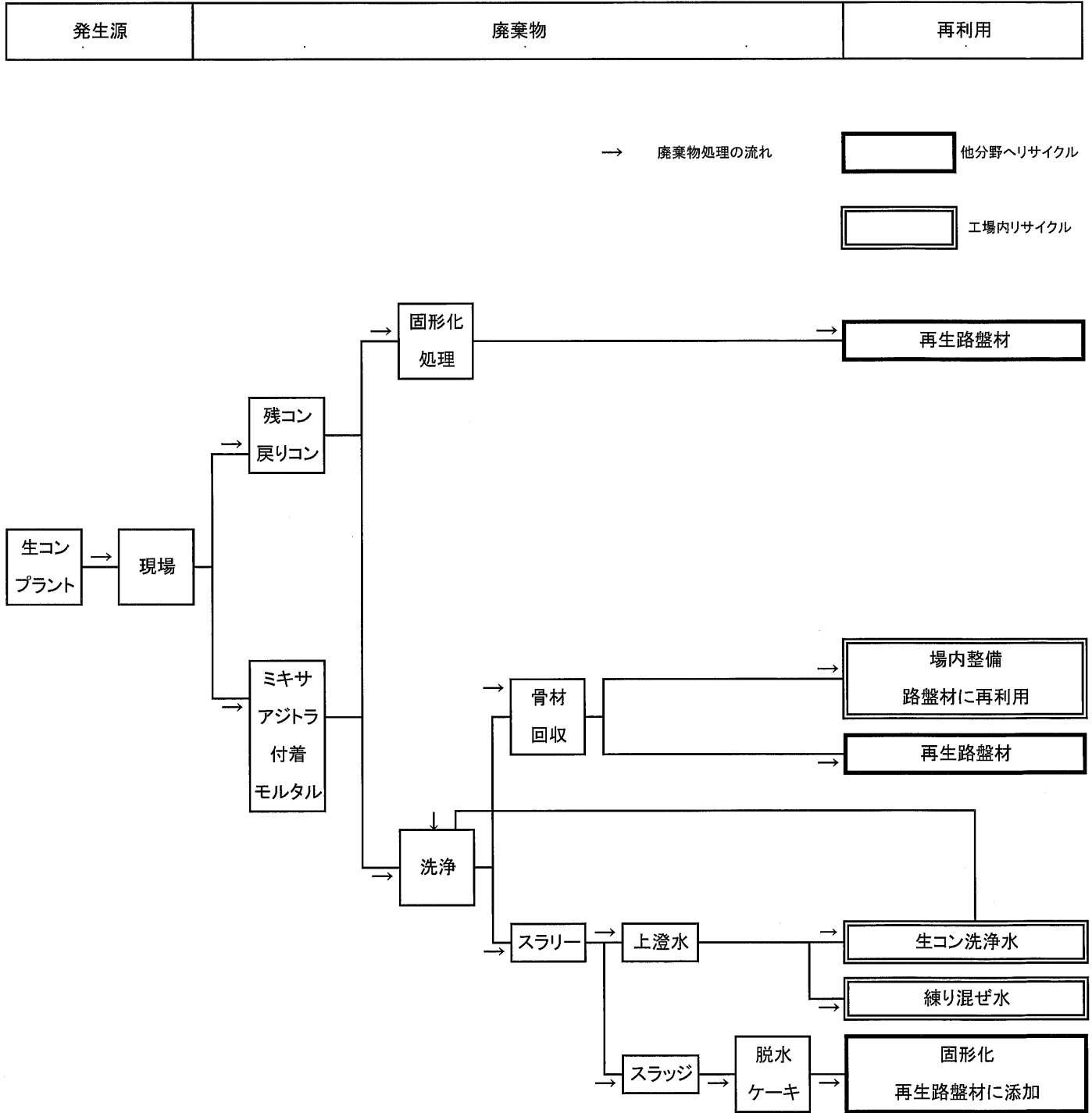
## (第5面)

② 計画	【今年度（ 2023 年度）目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全処理委託量	4,000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	4,000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 生コン購入者と密な連絡により戻りコン量を削減し、 産業廃棄物量の低減を図る。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



廃棄物処理フロー図(現状)

別紙2

<産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項>

管理体制図

統轄責任者		所属：那須塩原本社工場	職名：工場長
廃棄物担当		組織名：技術部 組織人数：2名	職名：生産担当
役割	社内委員会	○廃棄物管理に関する検討 廃棄物の発生抑制、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行ううえで必要な事項を検討する。 ・委員長—技術部長 ・委員—各部長及び工場長 ・事務局—技術部	
	廃棄物処理統轄責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○工場の環境安全管理規定の原案作成 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関係会社に関する教育・啓発	
	廃棄物管理担当	○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○産業廃棄物運搬、処理業者の調査、選定 ○その他関係する事項	

管理組織図

